

大雪にかかる除雪および災害対策を求める意見書

日野町では、平成29年1月14日からの降雪が33年ぶりの大雪となり、交通網の乱れによる大渋滞となりました。特に、東近江市から日野町を南北に縦断し甲賀市に至る日野町で最も交通量が多く、最重要幹線道路である国道307号は日野町内に急勾配の坂が多くあるため大型トラックが立ち往生し、大渋滞となり通行止めの措置が取られました。これにより通勤・通学や流通産業に大きく影響を及ぼしました。

また、大雪による被害として、家屋や会議所仏閣等の、農業施設ではビニールハウス、キノコ栽培施設、鶏舎等の屋根および建物上部の損傷、農作物ではナバナの倒伏などが発生しました。

よって、日野町議会は、安心・安全なまちづくりを推進する立場から、県事業として、今後の国道および県道の冬季の除雪対策により一層万全を期されることと、今年の大雪の被災者に対して支援策を講じられるよう、次の事項について強く要望します。

記

- 1 国道307号の大谷地先および安部居の滋賀東リカーペット(株)地先の坂に消雪装置の設置
- 2 主要地方道石原八日市線の除雪の実施
- 3 主要地方道石原八日市線の狭隘区間の早期改良
- 4 被災者向けの支援対策の実施

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成29年3月27日

滋賀県蒲生郡日野町議会
議長 杉浦 和人